

児童・生徒が日ごろの学習の成果を発表

各小中学校で「学習発表会・紅葉祭」を開催

10月20日に各小学校「学習発表会」と10月28日に只見中学校「紅葉祭」がそれぞれ開催され、児童・生徒の日ごろの学習の成果が発表されました。各小学校では劇や合唱、ダンスなどが披露され、中学校では英語弁論発表や総合学習発表、合唱や有志発表などが披露されました。練習の成果を発揮した児童・生徒の素晴らしい発表に、会場からは大きな拍手が贈られていました。



▲日本各地の伝統的な踊りを披露した只見小6年生の皆さん



▲ハンドベル、合唱、ダンスを披露した朝日小6年生の皆さん



▲「八十里の過去と未来」という発表劇を披露した明和小学校6年生の皆さん



▲「瑠璃色の地球」「手紙」の2曲を披露した只見中3年生の合唱



▲好成績を収めた只見剣道スポーツ少年団の皆さん

戊辰150周年! 各地の剣士集う 河井継之助杯只見剣道大会

10月21日、今年で4回目となる「河井継之助杯只見剣道大会」が町民体育館で開催され、町内外から113名・34チームの小中学生剣士が参加しました。

大会では、只見小6年生の渡部有希人さんが選手宣誓を行い、会場内では熱戦が繰り広げられました。また、恒例の小学6年生による河井継之助記念館見学交流会も行われ、歴史を知り親睦を深める大会となりました。優勝者は以下のとおりです。

個人	若葉(未防具)	共通	只見剣道スポ少	齋藤充希	団体	1部 (小5・6)	只見剣道スポ少A
	小4以下	男子	会津白虎剣士会	平野 昊		2部 (小4以下)	会津白虎剣士会
		女子	只見剣道スポ少	目黒夏穂			
	小5・6	男子	伊南武道館	山内一生		3部 (中学生)	只見剣友会
女子		伊南武道館	小杉美菜				
中学生	共通	只見剣道スポ少	新國太陽				

第12回市町村対抗福島県軟式野球大会 只見町代表チームがベスト16!

県内59市町村の頂点を目指す「第12回市町村対抗福島県軟式野球大会」が行われ、昨年ベスト4のシードとして大会に挑んだ只見町代表チームが「ベスト16」という結果を収めました。9月22日、鏡石町(2回戦)との初戦は、序盤に主導権を握った只見町が投打で圧倒し、見事8対1の6回コールドで勝利しました。続いて、9月30日の郡山戦(3回戦)は、初回到連続安打で出塁するも得点に結びつけることが出来ず、打線がつながった郡山市に0対7で5回コールド負けとなりました。ベスト16という成績を残した只見町チームの来年の飛躍に期待です。

▶ 鏡石町戦で3塁打を打ちガッツポーズを見せる横山剛嗣選手



▲只見町代表として大会に挑んだ選手の皆さん



◀ 広野町戦で打席に立つ酒井俊夫選手

第5回市町村対抗県ソフトボール大会 投打噛み合い悲願の初勝利!

10月13日、第5回市町村対抗県ソフトボール大会が相馬市のソフトボール場で開幕し、只見町代表チームが初勝利をあげました。互いに初勝利をかけて挑んだ広野町戦(1回戦)は、只見町が1回に3本の三塁打などにより一挙4点を奪い、有利に試合を進めました。投げては、長谷川佑樹選手が被安打2、1失点と好投し、投打が噛み合った只見町が見事8-1でコールド勝ちを収めました。続いて、10月20日に行われた石川町戦では、序盤の大量失点が響き、残念ながら0-10で4回コールド負けとなりました。今大会初勝利を収めた只見町チームの更なる活躍が期待されます。



▲初勝利を飾った只見町代表チームの選手の皆さん

「ただみ豪雪林業体験・観察の森」で 森林整備ボランティア活動を実施

10月5日、黒谷区の「ただみ豪雪林業体験・観察の森」で森林整備ボランティア活動が行われ、本事業に協力する野村総合研究所グループ社員43名と町内ボランティア4名が参加しました。この観察の森は、豪雪地帯に適応した林業モデル地として、森林管理技術の開発や環境教育などを目的に設置されており、今回は林内で除間伐されたスギ材を活用した薪作りが行われました。作業は玉切り、丸太の運びだし、薪割りを体験し、参加者は作業に汗を流していました。



▲機材を使って薪割り作業を行う参加者の皆さん